

静岡県原子力発電所環境安全協議会 会議録

<令和6年度第2回幹事会>

1 開催日・場所等

日 時	令和6年10月23日(水) 10:30~11:10
場 所	静岡県庁 別館5階 西会議室
出席者	幹事 16名 中部電力 3名 事務局 6名  計25名
議 事	○議事事項 (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第202号 (2) 静岡原子力だより202号(案) ○報告 (1) 浜岡原子力発電所の現況等
配布資料	○議事資料 資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第202号 資料2 静岡原子力だより202号(案)  ○報告資料 報告資料 浜岡原子力発電所の現況等

2 議事事項

- (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第202号  
事務局から、令和6年度第2回環境放射能測定技術会(9月5日開催)で検討・承認された「浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第202号」について、資料1により説明し、確認された。

《質疑応答：なし》

- (2) 静岡原子力だより202号(案)  
事務局から「静岡原子力だより202号(案)」を資料2により説明し、承認された。

《質疑応答：なし》

3 報告事項

- (1) 浜岡原子力発電所の現況等  
中部電力株式会社から、浜岡原子力発電所の現況等について、報告資料により報告された。

<質疑応答>

幹 事：4号機適合性確認審査について、基準地震動と基準津波の審査が終わったとのことだが、敷地内の断層に係る審査の見通しはいかがか。

中部電力：原子力規制委員会への対応を真摯に進めている。今年3月に発電所を御覧いただいた。審査の中で現地等を確認いただきながら進めて対応ができると思っている。

中部電力：断層の活動性については、これまでも審査をしていただいている。発電所敷地の中、若しくは、敷地の北側にある断層で活動性を論じようとしてきたが、なかなか良いデータが出てこなかったのが実態である。敷地の北1kmぐらいのところに、12～13万年前の地層があると分かっていたため、非常に深いトレンチを掘ったところ、すごく良いデータが出てきた。12～13万年前に阿蘇山から飛んできた火山灰が出てきた。発電所の敷地の中にある断層と連続した断層帯の上に、その火山灰があるということがしっかり結びつけられれば、活動性が証明できると目論んでいる。データをきちんと取って規制委員会へ説明できるよう準備を鋭意進めていきたい。

事務局：活断層に係る審査は継続しているが、設備の審査をするための地震動と津波が決まったため、設備の審査に入りたいと希望を持たれていると理解している。今後は、2020年以來行われていなかった、プラントに関する事項について審査が行われるとの認識で良いか。

中部電力：そのように進めていきたいと考えている。

幹事：南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表を受け、体制を取ることが中心だったと思うが、今後進めるべきこと等気づいた点があれば教えてほしい。

中部電力：このように対応すると決めたマニュアルがあったが、対応した者が分かりにくいと感じた部分の記載の修正を行っている。また、体制発令の周知方法、人の集め方、操作手順やマニュアルをより分かりやすく改善する対応を進めている。

以上